

# 私たちの町の文化財

## 速報！上代遺跡

### ■第11話 出土遺物から読み解く！

遺跡調査のメインは発掘調査ですが、発掘だけで終わるものではありません。調査のあとには必ず出土遺物の整理が必要になります。ふつう調査終了後に整理作業を始めるのですが、今回は調査期間が長いため、同時並行で整理を行っています。発掘調査で大量の木製品が出たことはみなさんご存知ですが、整理作業を通して上代遺跡の特徴が見えてきました。まさに速報です。

調査地点の特徴を一言で表すと、「大規模木器製作所」と言えるでしょう。木製品が出土した川の中には、大量の土器とともに多数の石器も含まれていました。石器の大半は伐採・加工用の石斧であり、目を見張るものがあります。おそらく出土した石斧の量と質は、県内一ではないでしょうか。この石器はすべて破損しているため、実際に使われたことが明らかです。木材の切り出しから加工までを、この周辺で行っていたことになります。調査地の北側には城山がありますが、おそらくこの山から木を切り出したのでしょう。木材を調達する城山のふもとに加工場を作る。まさに理想の環境じゃありませんか。遺物の内容から遺跡の内容を読み解く。遺跡調査のもうひとつの醍醐味です。

熊本市文化振興課 林田 和人氏

これらの石器で大小の木を切り倒し、丸太をカットしたり、縦割りしたり、木の表面をなめらかに加工したり…打撃に強い石器を使い、長い時間をかけてコツコツ作業したんでしょ  
うね。

